

十一月二十四日

今朝一時間半程を含めて、昨日から「芸術はゴミか」カバーコラム二枚書く。その内八枚はあんまり面白く書けたので、堀尾貞治の真似して、百円コラムとして売り出す事にした。続きを読みたい人だけ百円払えというわけだ。これで私もアーティストの中に入ったな。

次回十二月十五日の²¹農村研究会は盛り沢山になりそうです少し整理しなくては。

正午、人事小委員会。その前に雑打合わせ。十三時半迄。その後、保坂展人事務所の方、ひろしまハウスのことでインタビュ。非力な社民党に微力ながらテコ入れするかと考えているのに、保坂議員は解っていないんじゃないか。キチンとした野党魂を持つてと言いたい。雑用その他。十五時Sさん、十六時修士論文ミーティング。その後再び雑用。十八時八大建設西山社長来室。十九時前、近江屋で会食。西山氏、少し元氣無いので励ます。本当はこっちの方が励まされなくてはならないのだが、それはそれ、西山社長も六十八才、もう世界中を巡って、山岳スキー競技をする体力がなくなるのは当たり前前の事である。二十一半世田谷村に戻る。山口勝弘先生より便りが届いていた。

十一月二十五日

六時に目覚めてしまう。昨日受け取った山口さんからの便りを、スペースメディテーショントリップのはじまりにしてみよう。東

北の結城登美雄さんより連絡いただき、新潟市長が十二月の²¹農村研究会出席との事。千村君からも利根町の石川ダーチャのビルが入っていた。千村君とも随分お目にかかっているのだから会いたい。フィンランドよりマツティ・ラウティオラ教授が来日しているの今日コンタクトする。再び眠る。

十時半新宿で渡辺と落ち合い、十一時ヒルトンホテルでミサワ社長と打合わせ。昼食を交えて話す。十三時半迄。十四時大学戻り。打合わせ。十五時半広島より来客。ひろしまハウス打合わせ。十六時四〇分迄。アンコールワットの中川武教授に紹介。ひろしまハウス計画をより広いスケールでつかまえるようになれば良い。十七時半大学発。池袋へ。フィンランドからの人達に会う。十九時前、共に新大久保近江屋に戻り会食、語り合う。ラウティオラ教授、カティネン、ハリ、ヘーゲン、皆、プロフェッサー・アーキテクトである。仲々、アーキテクト教育はフィンランドでも困難であると言う。